

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	収蔵資料等公開事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	400600 - 109	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	文化財保護法		
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	○埋蔵文化財展・発掘調査報告会等、市内で実施された発掘調査の成果に関する公開事業の開催。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	資料等公開事業	市民、関係機関	<input type="checkbox"/> 写真展 <input type="checkbox"/> センター公開 <input type="checkbox"/> 現地説明会 <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財展 <input type="checkbox"/> 発掘調査報告会 <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財講演会 <input type="checkbox"/> 出前講師	<input type="checkbox"/> 写真展(2会場・1ヵ月間) <input type="checkbox"/> 現地説明会(1遺跡・67人) <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財展(5日間・522人) <input type="checkbox"/> 発掘調査報告会(74人) <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財講演会(74人) <input type="checkbox"/> 出前講師(7件)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費			309	397	
人件費			5,769	6,650	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			6,078	7,047	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	出前講師		21件開催	8件開催	7件開催	出前講師開催件数
	埋蔵文化財展		入場者539人	入場者473人	入場者522人	埋蔵文化財展入場者数
	講演会・報告会		入場者103人	入場者91人	入場者74人	埋蔵文化財講演会・発掘調査報告会入場者数

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

埋蔵文化財展はテーマ展と速報展を隔年開催しており、29年度はテーマ展のため、入場者数が49名増加した。講演会・報告会は漸減している。

### 問題点・課題等

各分野の文化財に関し、知識・経験を有する専門職員が減員し、多彩なテーマに関する展示・普及活動に支障が生じている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

本事業は、文化財の価値や調査成果を市民に情報発信するものである。埋蔵文化財展等のアンケートでは、新たな文化財の価値を認識でき継続を望むとの意見が圧倒的に寄せられている。文化財の保護と活用のための情報発信の場として、本事業の継続実施が必要である。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了